



令和 3 年 12 月 2 日

午前・午後 9 時 44 分 受領

No. 1

議長	事務局長	係

令和 3 年 12 月 2 日

愛南町議会議長 原田 達也 殿

愛南町議会議員 石川 秀夫

一般質問通告書

次のとおり通告します。

(答弁一括方式 ・ 答弁分割方式)

質問の要旨	答弁を求める者
<p>1 人口減少対策について</p> <p>愛南町の人口減少はとどまることがなく、愛南町の合併した平成 16 年約 29500 人から減り続け令和 3 年 11 月現在の人口は 20103 名と約 10000 人弱が減っております。人口推定よりも早く 20000 人を割り込むのも時間の問題となっております。</p> <p>活力ある愛南町を取り戻すためには、特に婚姻率の上昇、出生数の増加、移住者の増加、地場産業の活性化が必要だと思います。</p> <p>人口減少を止める施策については、総合的な取り組みが必要です。他の地方自治体との競争に負けない施策が必要です。</p> <p>そこでお伺いいたします。</p> <p>(1) 婚姻率を増加させるための現在の施策と実績、課題、20 代 30 代の未婚率および今後の有効かつ実績ある施策の取り組みについてどのように計画されているのか。お伺いいたします。</p> <p>(2) 出生数を増加させるための現在の施策と実績、課題、および今後の有効かつ実績ある施策の取り組みについてどのように計画されているのか。お伺いいたします。</p>	町長

(3) 移住者数を増加させるための現在の施策と実績、課題、および今後の有効かつ実績ある施策の取り組みについてどの様に計画されているのか。お伺いいたします。

(4) 地場産業を活性化させるための現在の施策と実績、課題、および今後の有効かつ実績ある施策の取り組みについてどの様に計画されているのか。柑橘ジュース加工場の建設は一度立ち止まって検討するとお聞きしておりますが、雇用を創出するためにも何らかの1次製品の加工場は必要だと考えますが今後の施策、計画についてお伺いいたします。

2 マイナンバーカードの普及と町民の利便性向上について

町長

デジタルトランスフォーメーションの一部である国の施策でマイナンバーカードの普及促進の施策を計画されております。既に健康保険証と一体化したカードがこの10月から登録できるようになり、私もすでに登録を済ませました。町民にどれだけの利便性があり、これからの社会でどのように活用出来るか、必要性が認識されていないために普及が進んでいないように思われます。

そこでお伺いいたします。

(1) マイナンバーカードの普及について国の施策と愛南町の今後の取り組み計画と数値目標についてお伺いいたします。

(2) 町民が各課に行って窓口申請する際手書きの申請書を書かなくてはなりません。一つの窓口にはカードリーダーを置けば申請で手書きをしなくてもよくなり、行政側の事務処理もかなり軽減でき、データ化出来ると推測します。

窓口での事務処理を軽減するための今後の計画と施策についてお伺いいたします。

以上